

## 工学教育協会 第72回年次大会 (2024年度)

## 工学教育研究講演会ならびに国際セッション講演募集要項

今大会は、会場での口頭発表とポスター発表形式を基本として開催します。加えて、昨年好評だった大会Webサイトを利用した録画発表も受け付けます。なお、ポスターの申込が少ない場合は、口頭発表で編成します。リアルタイム配信等はありません。

## 1. 大会メインテーマ

「イノベーションを創出するアントレプレナシップ教育」

趣旨：イノベーションを創出するためのアントレプレナシップ教育の重要性が認識されるようになっていく。また、工学系大学・高専の学生向けのアントレプレナシップ教育だけでなく、中学・高校生を対象とするアントレプレナシップ教育や、大学教員向け、企業内技術者向けのアントレプレナシップ教育、起業を支援する公的なベンチャー支援組織やインキュベーション、銀行・ベンチャーキャピタルなどの出資者との連携も実践されるようになっていく。工学教育におけるこのような様々なアントレプレナシップ教育と起業支援の取り組みを紹介しながら、イノベーション創出に向けての問題点等を議論する。

主催：日本工学教育協会、九州工学教育協会

日時：2024年9月4日(水)～6日(金)

会場：九州大学伊都キャンパス

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744番地

Tel. 092-802-2728

## 2. 講演募集テーマ

2.1 一般セッション講演：コロナ禍を契機とした工学教育・技術者教育のさらなる多様化や、第71回年次大会(2023年度)で得られた参加アンケートの結果を踏まえ、議論のますますの活性化を図る分類で募集します。申込時に登壇方式を選択してください。

(01) 大学・高専等における教育

(01-1) 講義・演習形式によるリベラルアーツ教育方法とその教材開発

基礎科目、初年次教育のための講義・演習、教材の開発、一般教養教育、技術者倫理、等

(01-2) 実験・実技を通じたエンジニアリング・デザイン教育の実践方法とその教材開発

実験・実技・教材の開発、ものづくり教育、リメディアル教育、エンジニアリング・デザイン教育、等

(01-3) 理工系人材育成に関する高専教育の実践と展開  
高専教育、体験入学、高専・技科大連携、デジタルものづくり、社会実装、等

(02) 教育力・教育手法・教育システム

(02-1) 工学教育・システムの個性化・活性化

eラーニング、プロジェクトマネジメントとPBL、教育評価・自己点検・評価システム、グッドプラク

ティス、等

(02-2) グローバルスタンダードに対応した教育システム  
機関認証評価 (JABEE)、等

(02-3) AI・データサイエンスおよびSociety 5.0に対応した教育システム

AI教育 (AIに関わる技術者倫理、生成AI活用も含む)、データサイエンス教育、等

(03) ICTを活用した教育システム

オンライン、オンデマンド、ハイブリッド、メタバース、ロボット、等

(04) 企業・地域連携教育

(04-1) 高大院連携、社会・地域貢献、社会人教育、企業における技術者教育

高大接続、学部-大学院一貫教育、企業連携、地域連携、等

(04-2) インターンシップ教育、企業×大学

インターンシップ、企業と大学による共創教育、新入社員教育、等

(04-3) アントレプレナシップ教育

起業家教育、マネジメント教育、等

(05) 学生セッション (学生による登壇に限る)

学生の教育活動事例、学修活動事例、等

(06) 多様化時代の教育手法とそのシステム

多様な学生への学修支援、個別最適化、女性エンジニア育成、ダイバーシティ、等

2.2 国際セッション講演：テーマ「工学教育における国際連携」。申込時に登壇方式を選択してください。英文投稿・発表となります。

## 3. オーガナイズドセッションの公募

オーガナイズドセッション (OS) のテーマを公募します。OSを提案する方は、2月16日(金)までにテーマ名、テーマ内容、予定発表論文数 (6件以上を目標) を担当までご連絡ください。OSは口頭発表のみとなります。論文提出・審査は一般セッション講演と同様です。

また、OSでは、ワークショップ (討論) の時間も設定できます。開催するOSテーマは、3月末に発表され、一般からの申し込みも受け付けます。

## 4. 登壇者の資格

(1) 日本工学教育協会、または各地区工学教育協会の個人正会員、団体正会員 (学校・企業等)、海外友好

団体および賛助会員に所属するもの。

(2) 協賛学協会の個人会員。

なお、学生の登壇の場合は、共著者に指導教員を加えてください。また、発表には、上記(1)、(2)の資格を有する指導教員が同席することを原則とします。学生の録画登壇は事前に指導教員のチェックを受けてください。

## 5. 発表の申し込み

### 5.1 一般セッション講演

論文とアブストラクトの同時申込とします。申し込み際には、大会Webサイトの応募要領を参照してください。

(1) 受付期間：2024年4月1日(月)～5月20日(月)、大会Webサイトに。

(2) 申込者には、6月初旬に採否を通知します。録画登壇用の動画提出は採択後になります。動画の審査は行いません。

(3) 登壇数制限：口頭発表は、講演テーマに関わらず、登壇者1名につき3件以内とします。

### 5.2 国際セッション講演

(1) 大会Webサイトに掲載されるCall for Papersを参照してお申し込みください。

(2) 受付期間：2024年4月1日(月)～5月20日(月)、大会Webサイトに。

(3) 申込者には、6月初旬に採否を通知します。録画登壇用の動画提出は採択後になります。動画の審査は行いません。

## 6. 原稿作成および投稿要領

### 6.1 一般セッション講演論文

(1) 原稿枚数は2ページとします。大会Webサイトに掲載の執筆要領に従い作成し、大会Webサイトから電子投稿してください。書式、内容などに問題がある場合は、不採択となることがあります。

(2) 著者の人数は6名以内とします。

### 6.2 国際セッション講演論文

原稿は、大会Webサイトに掲載のAuthor's Guideを参照して作成し、大会Webサイトから投稿してください。原稿は2もしくは4ページとします。国際セッション論文集を冊子として発刊します。

## 7. 発表要領

発表時間は、1題目につき講演10分、討議5分(国際セッションも同様)。登壇方式の詳細は今後公開される大会Webサイトの実施要領、マニュアルを参照ください。

## 8. 費用、表彰、公開、その他

(1) 費用：登壇者・参加者は大会参加登録ならびに参加費(資料代を含む)が必要です。登壇者には参加費の他に、別に定める登壇料をお支払いいただきます。支払いは採否通知後で構いません。参加登録者を対象に8月20日(火)から大会Webサイトで論文を公開します。

事前払込参加登録は4月1日(月)より7月30日(火)までとし、申込者には8月20日(火)を目途にプログラム冊子他資料を送ります。7月31日(水)以降の参加登録の場合は、資料は大会会場での受け取りもしくは大会後の発送となります。

(2) 表彰：優れた発表には、JSEE研究講演会発表賞を授与します。また、国際セッションでの優れた発表には、International Session Awardを授与します。

(3) 公開：発表論文は、大会Webサイトで一定期間公開後、J-STAGEに登載・公開されます。

(4) 講演発表後、「工学教育」誌に掲載を希望される方は、「工学教育」投稿規定・執筆要領に準じて改めてご投稿ください。編集・出版委員会の査読を経て掲載します。

## 9. キャンセルポリシー

開催にあたって、不測の事態が生じた場合は中止、延期などの方策を講じる場合があります。なお、申込者の都合による欠席の場合、論文閲覧・資料送付に替えさせていただきます。参加費などの払い戻しは致しかねますので、ご承知おきください。

## 10. 担当：日本工学教育協会事務局 川上

E-mail：kawakami@jsee.or.jp

URL：<https://www.jsee.or.jp/event/conference/>

### 2024年度協賛学協会(依頼予定、五十音順)

IEEE JAPAN COUNCIL, 化学工学会, 教育システム情報学会, 空気調和・衛生工学会, 計測自動制御学会, 資源・素材学会, システム制御情報学会, 地盤工学会, 情報処理学会, 照明学会, 初年次教育学会, 精密工学会, 繊維学会, ターボ機械協会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本液体微粒化学会, 日本応用数理学会, 日本音響学会, 日本感性工学会, 日本技術史教育学会, 日本教育工学会, 日本金属学会, 日本経営工学会, 日本原子力学会, 日本建築学会, 日本工学アカデミー, 日本工学会, 日本数学会, 日本数式処理学会, 日本図学会, 日本生体医工学会, 日本設計工学会, 日本塑性加工学会, 日本デザイン学会, 日本鉄鋼協会, 日本トライボロジー学会, 日本人間工学会, 日本防錆技術協会, 日本ロボット学会, PMI日本支部, 表面技術協会, プロジェクトマネジメント学会